## や まさき

山小児童会

# 盲導犬の育成に募金で協力!!

### 5月の運動会で盲導犬募金を実施

山崎小学校では、児童会が中心となり運動会の会場で、盲導犬育成を支援するための募金活動を実施しています。

この活動は、山崎町で活躍していた盲導犬カンタスから「カンタス募金」と名付けられ始まった活動です。カンタスが引退して以降も「盲導犬募金」として集まった募金は、兵庫盲導犬協会へ送金し、盲導犬育成のために役立っています。

今年は、7月7日（水）に盲導犬と暮らす大島千明さん（波賀町）に盲導犬ホープと一緒に参加いただき、『立派な盲導犬が育ちますように』と、想いのこもった募金を社協でお預かりし、兵庫盲導犬協会へ送金しました。

盲導犬は、ハーネス（白い胴輪）を付けている時は仕事中なので、触ったりなでたりしてはいけませんが、大島さんのご厚意でハーネスをはずしていただき、子どもたちとふれあう機会ももてました。

（山崎支部　森井裕矢）

「みなさんの気持ちと大切な募金、確かにお預かりします」と、社協鶴崎会長

「えらいな」「すごい賢いんやね」「かわいいな」など犬が苦手な子もおそるおそる

## い ちのみや

一宮支部福祉委員研修会

# 災害から“学び”と“気づき”

「自治会で災害時のマニュアル作りをしている」といった意見が・・・

7月31日（土）一宮保健福祉センターにおいて、「第1回一宮支部福祉委員研修会（全3回）」を行い37名が参加しました。

今回は、『平時の取組みが災害時に生きる』をテーマに、昨年の豪雨災害での被災体験者の話をはじめ、災害ボランティアセンターや福知と上岸田自治会に設置された災害対策本部の取組みなどを紹介しました。

「被害状況を知ったのが遅かったため何も出来なかった。」「ボランティアが出来なかったので後悔している。」など、当時を振り返るとともに、要援護者（高齢者や障がいのある人等）の見守り活動やふれあい活動など、平時から小地域福祉活動を進めていくことが、結果として、災害時においても要援護者を第一に救援できる地域づくりにつながることを確認しました。

福祉委員の皆さん、この機会に福祉への理解を深めましょう。

（本部・一宮支部　波多野好則）

| 日　時 | 研修テーマ・内容 |
|---|---|
| 【第2回】<br>8月28日<br>（土）<br>午前10時<br>～12時 | 【取組もう!地域で福祉学習!】<br>なぜ福祉学習が大切なのか。本当に効果的な福祉学習の進め方は?などについて、聴覚障がい者の八木昌幸さん（一宮町）を迎えていっしょに考えます。 |
| 【第3回】<br>9月11日<br>（土）<br>午前10時<br>～12時 | 【当事者の地域生活を支えるための地域づくり】<br>中野剛志さん（山崎町）より、長年奥さんを介護されてきた話しから、宍粟市男性介護者の会での取組みなど、じっくりと体験記をお話しいただきます。 |

読者の感想より　就学前保育の充実と、ひとりで子育てをしている母親の不安を取り除く方策が出来ないものか考えてほしい。（山崎町　男性）